

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所いんくる			
○保護者評価実施期間	令和7年9月15日		～	令和7年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～	令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが心を緩めることが出来て、リラックスして楽しく過ごせていると思います。	・まずは子どもたちにとって安心できる場所、スタッフであるような環境設定や支援を心がけています。 ・出来る範囲で、子どもたち発信の「やりたい」を叶えたり、どうしたら「やりたい」ことを実現出来るかを一緒に考えながら実行しています。	・子どもたちは、どのスタッフとも安心して過ごすことが出来ていると思います。今後は、子どもたち同士でやり取りをしながら人間関係やコミュニケーションを学んでいけるような環境設定、関わり方の配慮をしていきたいと思います。 ・自分の気持ちを発信するのが苦手なお子さんもいます。それぞれのお子さんがどんなことを考えているか、何をしたいかについてなどの思いを汲み取りながら、ご家族とも情報共有を綿密に行い、子どもたちが楽しく過ごせるよう支援していきたいと思います。
2	・安心できるスタッフや友だちと一緒に、色々なことに挑戦できる環境だと思います。	・ダンス活動は以前は職員が主体でしたが、子どもにもダンスリーダーを担ってもらっています。リーダーの人数も増え、挑戦することで達成感を感じてくれている様子です。また、ダンスリーダーになったことを通じて、友だちやスタッフとの会話も随分と増えました。 ・ダンスリーダーだけでなく課題作業や活動の中でのお手伝いなど、友だちの挑戦する姿を見て、自分も頑張りたい、やってみたいと自主的に意欲が湧き、新たに挑戦する子どもの姿も見られました。	・活動における様々な場面で、「子どもに任せる」「挑戦してもらう」といった機会を沢山設けていきたいと思います。 ※無理に任せるのではなく、子どもの気持ちを優先していきます。 ・これまで同様取り組んでくれたことを受け止め、感謝の気持ちを伝えていきます。達成感や充実感、自己肯定感を育んでいければと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容については設定活動や自由活動を通じて色々な取り組みや工夫をしているが、子どもによっては過ごし方が固定化しやすい現状があります。	・基本的に子どもの情緒面や特性に合わせた支援を心掛けているため、関わるスタッフや活動内容が固定化しやすいと思われます。	・子どもの気持ちを大切にしながら、改めて子どもの成長や個別支援計画に沿った支援を心掛けます。 ・日々のモニタリングを積み重ね、情報共有を行いながら適宜対応することで、活動が固定化しすぎることを防ぎます。 場合によっては、設定活動を増やすなどの検討をしていきます。
2	今ある活動や子どもの行動で気になることがあった時、その評価や根拠、方向性や発想、修正などに取り掛かりが遅れたり、「今までこうだったから」とそのままになったりすることがあります。	・スタッフの経験年数により「気づき」や「支援スキル」に差があります。	・事例検討会や外部研修への機会を増やしていきたいと思っています。 ・常勤、非常勤関係なく、自分の意見を発信したり意見交換できる機会を設けていきたいと思っています。
3	今年1月よりInstagramを開始し、施設での取り組み等を発信する機会を設けました。しかし今回の自己評価表の結果を受けて、すでに取り組んでいることもありましたが、ご家族や職員に対して情報共有が不十分な面が多々あることが分かりました。	・Instagramを開始したのが今年1月からで、1ヶ月に1回活動の様子を伝える機会に留まっています。 ・今年4月にHPの更新を行いました。周知していませんでした。	・情報共有したほうが良いことがあるか、洗い出します。 ・情報共有が不十分な部分については、適宜対応していきたいです。(方法については、書面、直接、事業所LINE、HP、SNS等幅広く検討していきます。)